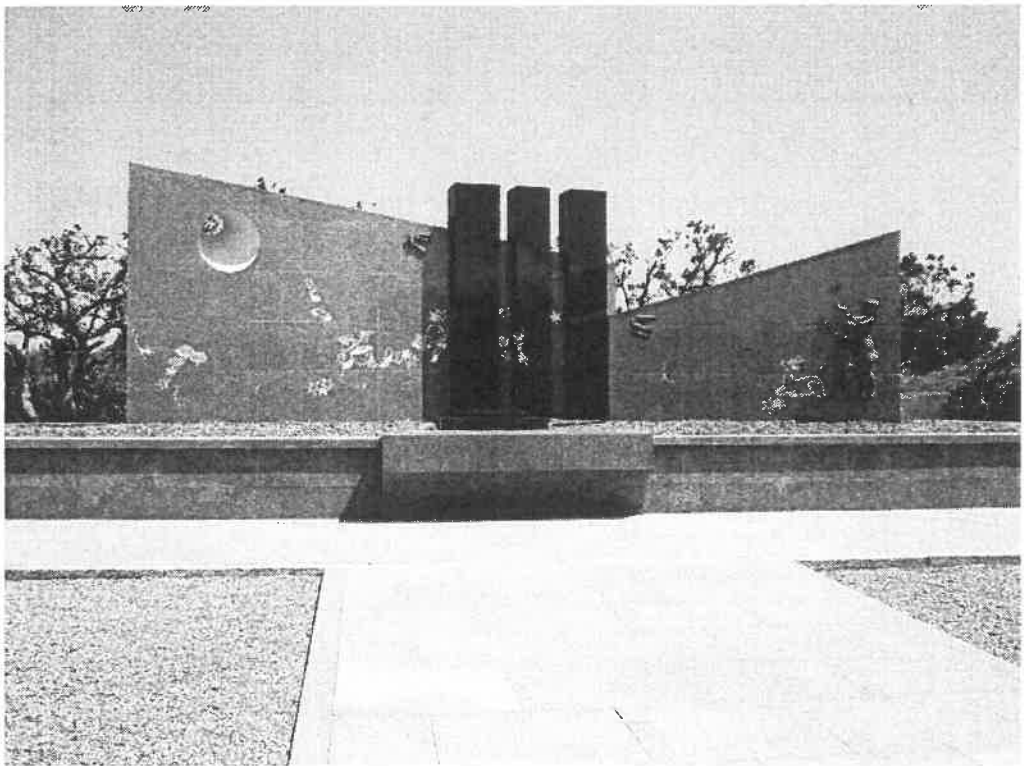


沖縄「ひろしまの塔」の概要



「ひろしまの塔」の概要

「ひろしまの塔」は、広島県戦没者沖縄慰霊塔建設委員会（会長 檜山袖四郎）によって募金が行われ、昭和42年9月14日に建設に着手し、昭和43年5月23日に完成しました。

その後、昭和44年4月30日に広島県が寄附を受け、管理を行っています。

1 塔に合祀されている戦没者

先の大戦において、沖縄及び南方諸地域で戦没された広島県出身者34,635柱（平成22年3月30日現在）が合祀されています。

2 塔の概要

- (1) 所 在 沖縄県糸満市米須嵩下原1452-3
- (2) 敷地面積 1,594.2平方メートル
- (3) 建設費総額 2,000万円（うち建設工事費1,600万円）
- (4) 設計・作成者 圓鏑勝三先生（文化勲章受賞，名誉県民）
- (5) 塔石及び石材 倉橋産の御影石
- (6) 玉 砂 利 太田川産の玉砂利

「ひろしまの塔」献辞

海を渡り また 海を渡り
郷土はるかに 戦って還らず
沖縄に散り 南方に散る
護国の英霊 三万四千六百余柱 ふるさとの
ここに とこしえに 鎮まりませば 妻子 父母 老いも若きも
海を渡り また 海を渡り
ここに もうでて み霊安かれと
祈らざらめや 祈らざらめや

昭和43年5月

広島県戦没者沖縄慰霊塔建設委員会会長 檜山袖四郎

